

一般質問通告者と質問事項

※三月中旬ごろにホームページで会議録の公開予定です。

小池 利雄 議員

- ① 市営住宅のバリアフリー化の推進について
- ② 「言語活動の充実」について
- ③ 本市における災害時のホームページ代理掲載について
- ④ 大田原ブランドの登録制度について

増渕 寛江 議員

- ① 平成二十四年度予算編成について
- ② 市庁舎建設について
- ③ 生活保護受給者の過去最多について
- ④ 市民のくらしを守る環境の改善について

高野 一郎 議員

- ① 小中学校の安心、安全対策について
- ② 市内の交通網対策について
- ③ 緊急医療情報キットの導入について
- ④ 不妊治療費の助成について

中川 雅之 議員

- ① 安心生活創造事業について
- ② 放課後の子どもたちの居場所について
- ③ 子ども権利条例について
- ④ 放課後児童クラブについて

星 雅人 議員

- ① 軽油引取税の課税免除措置の延長について
- ② 放課後児童クラブについて
- ③ 放課後子ども教室について
- ④ 放課後児童クラブについて

小西 久美子 議員

- ① 國際医療福祉大学医学部新設について
- ② 大田原赤十字病院について
- ③ 東京電力福島第一原発事故による放射線被害について

高野 礼子 議員

- ① 放射能汚染問題の今後の対策について
- ② 災害復旧・復興について
- ③ 太陽エネルギーの活用について

市議会を傍聴して



十二月の市議会を傍聴しました。今回は定員が三名減となり、新しい議員さんも多く、新鮮なやり取りが聴けたことは大きな収穫でした。
職業柄、市長さんの言うところの「人を育むまちづくり」について大きな関心を抱いて傍聴していましたが、議員の皆さんも市長さんを始めとした市当局も「子どもたちの未来を拓く」ということに関して情熱を注いでくださっていることに感激しました。当日または後日の市長さんのお話の中で「子どもの権利条例の制定」や「学童保育の見直し」を検討していることをお伺いして心強く感じました。



しかしながらリーマンショック以降、世界が金融資本経済の限界について知り、さらには福島原発事故による今後の財政負担を考えた時、税収の有効活用については大きな課題となつて

くることと思います。今回の大地震では本庁舎も被災し、復旧も未だに進まない中、地域のために真剣に討議している姿には頭の下がる思いです。

大田原市は他市町と比べて非常勤職員の配置や特色ある学校に対する補助金など教育に係る経費を十分に配当していただきております。我々教職員はそれを可能にしている議会や市当局の子どもたちへの教育に関する熱意を真摯に受けとめ、地域や保護者とともに自らの力で自分の未来を切り拓いていくための素地をつくるために努力していくかなければならぬことを改めて肝に銘じました。



黒羽小学校 校長
高尾 朗さん